

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間 / 週
---	------------	--	-----------	---------------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	アイデンティティを巡る問題	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	中村桃子『ことばがつくる女と男』 / 中島敦『山月記』（筑摩書房『現代文B』所収）
Unit Description 単元の概要	アイデンティティを形成するうえで重要なファクターとなる言語。そのなかでも「ことば遣い」という言語実践がアイデンティティ形成に大きな影響を与えること、すなわち結果と原因が転倒した関係性をそこに見出す。自らが考えるアイデンティティと、実際の社会における己の受け取られ方との差異における苦悩を、代表的な変身譚である『山月記』を用いて分析する。		

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。	A3	B3 本質主義という「分かりやすい」物語を脱構築し新たな問題を見出させる。	C3 一度形成されたアイデンティティの歴史性を見ることで、新たな在り方への可能性を見出せる。
好	A2	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2。	A2	B2 李徴が考える変身の理由の妥当性を考え、変身によって可能になったことを考える。	C2
知	A1 言語活動に必要な漢字・語彙を身につける。	B1 事物の歴史的背景を知り、視点、語りの構造、修辞法などの道具立てを理解する。	C1	A1 ジェンダー論に関する語句や、漢文的な表現法を理解する。	B1 ジェンダーに関する歴史的背景を知り、また一人称の語りの構造を理解する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 班による発表、レポート <ICT> keynoteでのプレゼン制作、safariによる調査
---------------------	---

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語/現代文B	Class hours 時間数	4時間/週
----------------------------------	----------	---------------------------------	---------	--------------------	-------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	言語（記号）を介した他者理解	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	若林幹夫『地図の想像力』/ 絲山明子『ベル・エポック』（筑摩書房『現代文B』所収）
------------------------------	----------------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	私たちが漠然と持っている先入観がどこからやってきたものであり、どのように植え付けられたのかを、「地図」の歴史を振り返ることで考える。そのなかで、言葉が世界と認識の間を媒介していることを確認する。また、小説家が付けたタイトルや、作中で登場する小物が読者に強い印象を与える一方、小説内の世界にそれがどれぐらい大きな役割を持つのかを考える。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3 コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。	C3	A3	B3 描かれていることと、描かれていないことの双方から、テキストを読み直す。	C3
好	A2 段落・場面ごとに内容を読み取り、5W1Hを意識して整理する。	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を解釈し、作品の主題を解釈する。	C2 作品世界の広がりや、自己の内面の広がりとして捉え、自分の解釈・考えを再構築することができる。	A2 「世界」というものが記号によって認識されることを理解する。	B2 「ベル・エポック」という言葉が持つ「意味」について検討し、作品を解釈する。	C2 語られてる世界が、視点や語りによって変容することを捉え、世界観の土台を再構築する。
知	A1 基本的な思想の変遷を理解する。	B1 出来事・言動と心情の繋がりを理解する。	C1 言葉・思考の可能性と限界を知る。	A1 地図における「進化」の歴史を理解する。	B1 みちかの心情がどのように読み取ることが可能かを理解する。	C1 記号が媒介する認識の可能性と限界を知る。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 班による発表、レポート <ICT> keynoteでのプレゼン制作
--------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間 / 週
---	------------	--	-----------	---------------------------	---------

2学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	限界づけられる認識と自由の問題	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	立川健二『記号論と生のリアリティ』 / 安部公房『鞆』（筑摩書房『現代文B』所収）
-------------------------------------	-----------------	--	---

Unit Description 単元の概要	人間が世界を認識するうえで媒介となる「記号」。「生」の感触として受け取るリアリティも「記号」が媒介をしており、そして記号とは「意味の体系」に組み込まれたものであるということ、立川健二のテキストから読み解く。そのうえで、一切の制約から放たれたという意味での「自由」が、自由を意味づけるものからは自由になれない制約があることを、安部公房の小説で学ぶ。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3 様々な分野の文章やメディアを通して言語感覚を豊かにする。	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3	A3 「記号論」に関連した小説を横断的に読んで、それぞれのジャンルの特性を考える。	B3 認識が記号によって制限づけられることで、自らの認識に対する常識を疑える。	C3
好	A2	B2	C2 自分が立てた論理だけでは説明することができない矛盾点に目を向け、新たな読みを提示することができる。	A2	B2	C2 作品内に内在する矛盾に対して、作品を超えた読みを提示することができる。
知	A1 基本的な思想の変遷を理解する。	B1 分析と総合、具体と抽象、比較、因果、理由と根拠、推論などの思考コードを理解する。	C1	A1 自由を巡る考え方について、前近代・近代・ポストモダンでの変遷を理解する。	B1 鞆という物質が、自由という抽象的な概念を表象する関係を成り立たせている論理を理解する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 班による発表、レポート <ICT> keynoteでのプレゼン制作
---------------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間 / 週
---	------------	--	-----------	---------------------------	---------

2学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	集団としての人間の行動	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	細田衛士『資源はなぜ枯渇するのか』 / 高橋源一郎『ぼくらの民主主義なんだぜ』（『現代文B』）
-------------------------------------	-------------	--	---

Unit Description 単元の概要	合理的な知を備えたとされる現代の人々だが、それが集団となった時の行動においては、必ずしも個人にとっての最適解を合理的に導くわけではなく、むしろ不合理とも見える行動がしばしば起こされてしまう。ゲーム理論という切り口から資源と環境問題を考えたのち、民主主義というシステムの正当性を根本から問い直す。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">楽</td> <td style="width: 20%;">A3整理した内容を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。</td> <td style="width: 20%;">B3コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。</td> <td style="width: 15%;">C3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">好</td> <td>A2漢字・語彙を文脈のなかで適切に用いる。</td> <td>B2</td> <td>C2他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">知</td> <td>A1</td> <td>B1</td> <td>C1問題提起のあり方を理解する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">Recognition</td> <td style="text-align: center;">Logical Thinking</td> <td style="text-align: center;">Creative Thinking</td> </tr> </table>	楽	A3 整理した内容を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。	C3	好	A2 漢字・語彙を文脈のなかで適切に用いる。	B2	C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。	知	A1	B1	C1 問題提起のあり方を理解する。		Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">A3民主主義についての問題を、民主主義の規範にのっとって伝えることができる。</td> <td style="width: 20%;">B3資源問題という現代の社会がおかれているコンテキストに注目して、テキストを分析できる。</td> <td style="width: 60%;">C3</td> </tr> <tr> <td>A2社会科学で用いられる語彙を適切に利用できる。</td> <td>B2</td> <td>C2他者との対話自体が、民主主義をめぐる問題の解そのものになりえることを意識する。</td> </tr> <tr> <td>A1</td> <td>B1</td> <td>C1自分たちが向き合わなくてはいけない問題を明確に示せる。</td> </tr> </table>	A3 民主主義についての問題を、民主主義の規範にのっとって伝えることができる。	B3 資源問題という現代の社会がおかれているコンテキストに注目して、テキストを分析できる。	C3	A2 社会科学で用いられる語彙を適切に利用できる。	B2	C2 他者との対話自体が、民主主義をめぐる問題の解そのものになりえることを意識する。	A1	B1	C1 自分たちが向き合わなくてはいけない問題を明確に示せる。
楽	A3 整理した内容を、相手の立場や考えを尊重しながら、話し方に注意して、わかりやすく説明できる。	B3 コンテキストに注目してテキストを読み直し、自分の考えをまとめることができる。	C3																							
好	A2 漢字・語彙を文脈のなかで適切に用いる。	B2	C2 他者との対話を通して、現代と未来に向けた意思を表現することができる。																							
知	A1	B1	C1 問題提起のあり方を理解する。																							
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking																							
A3 民主主義についての問題を、民主主義の規範にのっとって伝えることができる。	B3 資源問題という現代の社会がおかれているコンテキストに注目して、テキストを分析できる。	C3																								
A2 社会科学で用いられる語彙を適切に利用できる。	B2	C2 他者との対話自体が、民主主義をめぐる問題の解そのものになりえることを意識する。																								
A1	B1	C1 自分たちが向き合わなくてはいけない問題を明確に示せる。																								

Others 備考	<評価方法> 班による発表、レポート <ICT> keynoteでのプレゼン制作
------------------	---

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 / SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	国語 / 現代文B	Class hours 時間数	4時間 / 週
---	------------	--	-----------	---------------------------	---------

3学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	小説「こころ」	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	夏目漱石『こころ』（筑摩書房『現代文B』所収）
-------------------------------------	---------	--	-------------------------

Unit Description 単元の概要	近代に生きる知識人の宿命として「さびしさ」を背負い続けた「こころ」の「先生」。ゲマインシャフトから放逐された近代知識人が、独り向き合う己から浮かび上がった他者性を、とことん抉り出したこの作品を読むことで、自らを省みる強靱な言葉と思考力を鍛えていく。加えて「小説」というジャンルのもつ社会的な役割についても確認する。
----------------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3 把握した内容に関して、自ら疑問を持ち、問題提起することができる。	C3 自己の内面に既存する論理を変革し、内的世界（世界観・人間観など）を深めることができる。	A3	B3 先生やKの決断に対して、語られていない点に疑問をもち、問題提起を行う。	C3 人はどのようにして己を保ち続けられるのかを考えつつ、己のなかの他者との会話を深める。
好	A2	B2 一つ一つの言葉に注目しながら心情を理解し、作品の主題を解釈する。	C2 作品世界の広がり を、自己の内面の広がりとして捉え、自分の解釈・考えを再構築することができる。	A2	B2 「私」がどのような意図をもって「K」に語り、それをどのように「遺書」の中で語っているかを読み解く。	C2 広く深い多様な解釈に耳を傾け、作品を読むために必要となる経験の幅を意識する。
知	A1 基本的な思想の変遷を理解する。	B1	C1	A1 近代という時代の意味を近代文学から考える。	B1	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 班による発表、レポート <ICT> keynoteでのプレゼン制作
------------------	---